



神奈川県議会議員 佐々木ナオコの 県政報告会 + 学習会レポート

第1回 7月31日 (土) 14:00~16:00

小田原お堀端コンベンションホール

「地域の再生可能エネルギーの未来」

ゲスト：原正樹氏 湘南電力(株) 代表取締役社長
藤井崇史氏 (株) REXEV 取締役



「県政を身近に！」をモットーに活動を展開してわたしが、地元の皆様に直結するテーマについて、地域で活動するゲストを迎え、県の政策も合わせてご報告する連続学習会の第一回を7月31日に開催しました。記念すべき第一回目のテーマは、「地域の再生可能エネルギーの未来」。

かながわスマートエネルギー計画

<災害時も停電のないくらし>

2018年10月
台風24号の影響で、
神奈川県内でも
約18万戸が停電しました。

災害時も
停電のないくらし！
今こそ太陽光。

かながわスマートエネルギー計画

<神奈川県エネルギー地産地消推進事業者認証制度>

かなエネサポーター

地産 かなエネ
地消 サポーター

自家消費型の太陽光発電設備(発電出力10kW以上)やガスコージェネレーション(発電出力100kW以上)等を設置する企業を応援します。

新たなサービスの創出 湘南電力

環境配慮型メニュー「湘南のカーボンフリー」創設

Carbon free!

湘南のカーボンフリー

企業や自治体等が省エネ設備を導入し、CO2排出量を削減すると、その削減額に応じた環境価値が生み出される。その環境価値は、県の認定による「クレジット」という制度で売買の対象となる。「湘南のカーボンフリー」メニューを導入いただくことで、削減する電力量と同等のクレジットが提供され、環境に配慮していることが県の認定のもとPRできる。

湘南電力のサービスモデル ～地産地消+地域貢献～ 湘南電力

電気が地域循環することで地域が活性化していく仕組みを創出する

神奈川県内のみ
湘南地域の需要事業者
パートナー企業の
環境活性化活動に資力します

ECHO 小田原電機
FUKUOKA
DOKUWA OHS
湘南電力
湘南電力の
地域応援メニュー
収益の一部を還元
パートナー企業

地産地消 湘南電力は神奈川県内で発電された電力を積極的に調達し、神奈川県地域の企業等(電力消費者)に電力を安価に供給する。

地域貢献 湘南電力は事業収益の一部を地域パートナーに還元し、地域活性化に貢献する。

ものなどをお話していただきました。その後は、原さんのお繋がりでも、スペシャルゲストとして、小田原箱根で電気自動車のカーシェアリング事業「eemo (イーモ)」を運営する株式会社REXEV (レクシブ) 取締役の藤井崇史さんも参加。「eemo」についての説明と、この事業への想いをお聞きすることができました。

まずはわたしから、神奈川県での再生可能エネルギーの取り組みについて報告。

その後、小田原で電力小売事業に精力的に取り組んでいる(株)湘南電力の原正樹社長から、湘南電力の取り組みや、湘南電力が目指す

わたしは、3.11の福島第1原発の事故以前から、脱原発に向けた活動に取り組んでいます。東京電力のような大手電力会社しか選べない状態から、湘南電力のような小売電気事業者を選ぶことができる仕組みへと法改正をすることが、脱原発への一歩だと考えていました。

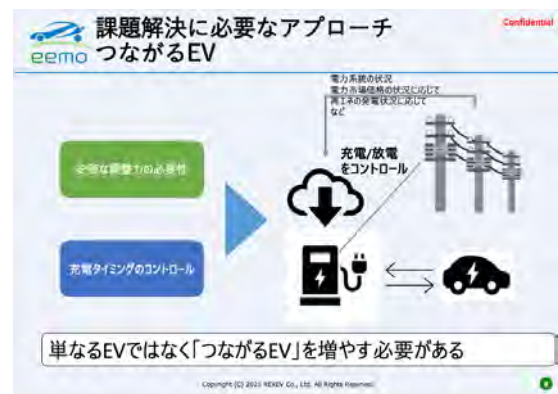
原発事故後に法改正がなされ、今のように電気事業者を誰もが自由に選べるようになりましたが、そんななかで、自然エネルギー由来の小売電気事業者が地元で立ち上がり頑張ってくれていることがとても嬉しい！と申し上げました。

しかし、お話を伺うと、現状は卸電気市場価格の高騰により電気小売事業者はどれも大変厳しい状況で、湘南電力も例外ではないとのことでした。

そもそも、電気の自由化は国策として実現したものです。つまり、様々な由来の電気を消費者が選べるのが、環境負荷の少ない電力を確保するためには必要だとの認識で法改正をしたのですから、国も、新規参加者が参加しやすい環境整備や、暮らしに欠かせない「電気」が市場原理に左右されないような規制に取り組むべきとの意見もトークの中で出されました。

国は7月21日に、再生可能エネルギーの比率を、2030年までに36~38%にすると決めたばかり。また神奈川県は環境先進県となるべく、さらに高い45%を目指すとしています。ちなみに、2019年度の実績は約19%。そのためにも、国も県も、さらに取り組みを強化しなければなりません。（そういえば、黒岩県知事は『全ての屋根に太陽光パネルを！』が、最初の選挙の公約でしたね！）

今回は、ざっくばらんに、今抱えている課題や政治への宿題もいただき、わたし自身もとても学びの多い会となりました。そして、そんな原さんや藤井さんの思いを受け止めるべく、同じ地域にすむ県政地域の皆さんに、もっと地域由来の電力を活用していただくことも大事だと、会場の皆さんやzoom参加の皆さんと共有できた会でした。



最後の質疑応答コーナーでは、すでに自宅に太陽光パネルや蓄電池を導入している方からの、個別のご相談会のような感じになりました。

お忙しい中、快く講師を引き受けてくださった原正樹さん・藤井崇史さん、本当にありがとうございました。グイグイいろんなこと聞いてしまいましたが、わかりやすくしっかりと答えていただき、感謝いたします。

コロナ感染症の拡大が止まらない中で、しっかりとした感染対策のために会場参加者を収容キャパの50%に抑えたため、多くの方がzoomで参加もしていただきました。

今回は8月29日（日）。テーマは「富士山噴火災害」です。緊急事態宣言下ですので、現在開催の方法も検討中ですが、万全の感染症対策を行いながら、皆様に情報をお届けできたらと考えています。ぜひご参加ください。

